

会社概要

2023年6月30日現在

商号 ホシザキ株式会社  
(HOSHIZAKI CORPORATION)

所在 本社 〒470-1194  
愛知県豊明市栄町南館3番の16  
(代表電話) 0562-97-2111

設立 1947年2月5日

上場市場 東京証券取引所プライム市場  
並びに名古屋証券取引所プレミアム市場

資本金 80億98百万円

事業内容 フードサービス機器の研究開発、製造、販売及び  
保守サービス

決算 12月31日

従業員数 (連結) 13,360名 (単体) 1,165名

連結子会社 国内18社 海外37社(合計55社)

持分法適用会社 海外1社

役員

2023年6月30日現在

取締役会長	坂本 精志	常務執行役員	栗本 克裕
代表取締役社長	小林 靖浩	常務執行役員	落合 伸一
取締役	友添 雅直*	常務執行役員	古川 義朗
取締役	後藤 昌彦*	執行役員	後藤 修
取締役 専務執行役員	家田 康嗣	執行役員	寺嶋 清二
取締役 専務執行役員	西口 史郎	執行役員	松永 陽介
取締役 常務執行役員	丸山 暁	執行役員	関 隆一郎
取締役 常務執行役員	矢口 教	執行役員	甲斐 照幸
取締役 常勤監査等委員	水谷 正	執行役員	神谷 彰
取締役 監査等委員	元松 茂*	執行役員	佐々木 誠
取締役 監査等委員	柘植 里恵*		※は社外取締役

株主メモ

事業年度 1月1日から12月31日まで

定時株主総会 毎年3月

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人 名古屋市中区栄三丁目15番33号  
事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
(郵送物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) 電話 0120-782-031(フリーダイヤル)  
受付時間 9:00~17:00(土・日・休日を除く)

インターネット ホームページURL <https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>

■株主総会資料の電子提供制度  
会社法改正により、2023年3月以降に開催される株主総会から株主総会資料が原則ウェブ化されます。

主な変更点  
・ウェブサイトへのアクセス方法を記載した招集通知(通知書面)をお送りします。  
・株主総会資料の全文はウェブサイトへアクセスすることで確認できます。  
※議決権を有する株主様が対象です。なお、議決権行使書は原則、今まで通りお送りします。

電子提供制度について詳しくはこちらをご参照ください  
<https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/kaisyahou>



■これまでと同内容の資料送付をご希望の場合(書面交付請求のお手続き)  
株主総会基準日までに証券会社や株主名簿管理人(三井住友信託銀行)にお申し出のうえお手続きを完了していただくことで、これまでと同内容の株主総会資料を書面でお送りいたします。

・証券会社にお申し出の場合:お取引のある証券会社へお問い合わせください。  
・株主名簿管理人にお申し出の場合:申出書面のご提出が必要となります。詳しい内容等は、下記の専用コールセンターにてお問い合わせください。

専用コールセンター: 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
0120-533-600(フリーダイヤル)  
受付時間: 9:00~17:00(土・日・休日を除く)



株主・投資家の皆さまへ

# ホシザキグループ報告書

第78期 第2四半期累計期間(2023年1月1日~6月30日)



## ホシザキ株式会社

〒470-1194 愛知県豊明市栄町南館3番の16 総務部総務課  
TEL:0562-96-1111 FAX:0562-97-7427



# アフターコロナ下の追い風の中、 着実に利益成長を目指す



代表取締役社長  
小林 靖浩

## 存在意義

私たちホシザキグループは、多様化する「食」に対するニーズの変化に対応し、お客様のみならず社会に貢献できる「進化する企業」であることを目指します。これを満たすため、独自の技術に基づくオリジナル製品を創造し、より快適でより効率的な食環境へ向けての新たな提案と迅速かつ高品質なサービスを提供します。

## 経営姿勢

- 遵法はもとより社会と社員から信頼される会社づくり
- 透明性のある経営 議論のできる経営の実践
- 事業活動と環境との調和 働きやすい職場環境の実現

良い製品は良い環境から

株主の皆さまにおかれましては、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

## 当第2四半期累計期間の業績の総括

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に位置づけられ、6月には訪日外国人客が3年5カ月ぶりに200万人を超え、インバウンド需要の回復が見られるなど、外食、旅行を含むサービス産業はコロナ禍前の経済活動に戻りつつあります。海外は、消費や雇用には底堅い動きもみられ、物価上昇の継続や金融引き締め長期化による景気減速のリスクが懸念されている中で、7月発表のIMF世界経済見通しでは、2023年の経済成長率が+2.8%から+3.0%に引き上げられています。

このような環境下、当社グループは、国内では昨年発生した部材調達難による供給制約は解消した中、飲食市場への拡販及び流通販売業や加工販売業等の飲食外市場への拡販と新規顧客の開拓に注力いたしました。海外では、堅調な需要の継続に対して製品供給に注力すると共に、収益性の改善にも努めました。また、昨年買収した企業による業績貢献がありました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は1,837億91百万円(前年同期比22.3%増)、営業利

益は229億94百万円(同73.4%増)、経常利益は288億30百万円(同19.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は199億30百万円(同20.1%増)となりました。

## 下期以降の取り組み

上期の決算発表に合わせて、2023年12月期連結業績予想を上方修正しております。売上高3,550億円(期首業績予想比101.4%、前期比110.5%)、営業利益370億円(同108.8%、同132.5%)の達成を目指します。

国内においては、フードサービス業界の景気はコロナ禍から着実に回復傾向であり、昨年実施した製品価格改定の浸透も順調です。この夏の猛暑、秋以降想定される中国からのインバウンド急増等、追い風は想定されるものの、外食消費の伸び悩み、人手不足、コスト高(食材費、人件費上昇等)といった逆風も依然継続しており、お客様の設備投資需要の不確実性が高まりつつあります。こうした中、当社グループは全国に張り巡らせた直販体制の強みを活かし、お客様に寄り添い、お客様毎に異なる課題解決に向けて、省エネ・省力化・省人化支援、補助金の活用等を積極的にご提案していきます。業績が戻りつつある飲食店のお客様だけでなく、飲食店以外のお客様に対しても営業ノウハウが確実に蓄積されてきており、積極的に新規お客様の開拓に取り組めます。また、お客様のサステナビリティへの取り組み、環境負荷低減への関心は確実に高まってきております。5月末に発売した業界初の自然冷媒冷蔵庫の販売は順調に推移しており、下期も確実な拡販を目指します。一方、製品部材は引き続き高

騰しており、コスト管理を一段と強化していきます。

海外においては、円安の進行に加えて、中国、ブラジル等一部地域を除いてフードサービス業界の設備投資需要は堅調です。各地域で競争環境に応じて戦略的に進めている製品価格改定の浸透が順調であり、製品部材高騰の影響はほぼ吸収できています。

製品別では特に製氷機の販売が好調です。昨年大きな課題となった部材調達難による製品供給制約も今年は解決しており、下期は積極的な拡販を目指します。一方、冷蔵庫の価格競争が引き続き厳しい状況です。低コスト製品の開発・早期上市、品揃えの強化、サービス力強化等に積極的に取り組みます。さらに東南アジアでは食器洗浄機の販売を開始しており、来期以降の成長に向けてしっかりと準備を進めます。

今年7月にはシンガポールに当社グループ4社目(米州、欧州、中国に次いで)の地域持株会社(HOSHIZAKI SOUTHEAST ASIA HOLDINGS PTE LTD.)を設立しており、今後地域共通機能の強化、傘下6社の経営及び業務品質の向上を目指します。

来期(2024年)からの3年間は、現在取り組む5ヵ年経営ビジョン(2022-2026)の総仕上げの期間であり、今期は来期以降の継続的な構造改革に向けてしっかりと準備を進めます。

株主の皆さまには、今後とも企業価値向上に向けた当社グループの挑戦にご期待いただき、引き続き当社グループの経営にご理解とご支援をお願い申し上げます。

# 五大陸をつなぐ世界No.1ブランドを目指して、国内外で積極的な取り組みを推し進めています。

## 国内での取り組み

### 国内初の自然冷媒冷蔵庫の投入と普及推進

2024年末までに全ての国内向け業務用冷凍冷蔵庫の冷媒をノンフロンである自然冷媒へ変更します。ラインナップを引き続き強化し、お客様の環境対応に貢献します。

#### ▶ 自然冷媒冷凍冷蔵庫68機種発売

- 製品のライフサイクルでの温室効果ガス排出量削減となり、環境負荷低減に貢献
- フロン排出規制法対象外となり、導入先の負担軽減にも貢献

冷蔵庫  
44機種

冷凍庫  
24機種

業務用自然冷媒冷蔵庫  
HR-120NAT



#### 自然冷媒とは

地球環境に影響を及ぼす特定フロン・代替フロンと異なり、GWP(地球温暖化係数)の**大幅削減**を実現した冷媒です。

#### GWP(地球温暖化係数)比較

通常の冷蔵庫・冷凍庫(R134a)

1430

自然冷媒冷蔵庫

3

(インブタン/R600a)

自然冷媒冷凍庫

3

(プロパン/R290)

#### 大手チェーン店様でのご導入実績

株式会社アレフ様  
(びっくりドンキー)

タリーズコーヒージャパン  
株式会社様



#### 展示会への自然冷媒冷蔵庫出展

厨房設備機器展、  
FOOMA JAPAN2023、CAFERES  
JAPAN2023などに出展



### 大型プロジェクトの受注

当社の安定している品質、サービス体制、製品の性能をご評価いただき、いくつかの超高級ホテルの厨房物件を受注しました。今後も、インバウンド需要の回復に伴う、お客様の設備投資需要の回復に迅速に対応していきます。

ブルガリホテル東京様 開業日:2023年 春



ザ・リッツ・カールトン福岡様 開業日:2023年初夏



ヒルトン沖縄 宮古島リゾート様 開業日:2023年初夏



## 海外での取り組み

### 東南アジア持株会社設立

海外エリア戦略の更なる機動的な実行推進のため、2023年7月、東南アジアに持株会社を設立しました。

<設立の目的>

#### ● 海外各地域の成長戦略加速及び経営基盤強化

東南アジアの独立した6販売会社(シンガポール、インドネシア、タイ、マレーシア、ベトナム、フィリピン)の経営効率化、リスク低減を推進し事業を拡大します。

#### ● 東南アジアにおける一層の事業拡大を目指す

地域内事業戦略の整合性とシナジー効果の最大化を目指します。

▶ 各地域内事業戦略の整合性、シナジー効果の最大化を目指す



### 戦略的M&Aの活用

2022年12月、中国で厨房一式事業を展開する北京東邦御厨科技有限公司(以下、東邦御厨社)を買収しました。シナジー効果を活かし中国市場での事業拡大を目指します。今後もM&Aを含む海外事業への積極的な投資を続け、事業拡大を図ります。



東邦御厨社が  
施工した  
高級ホテル

<強み/シナジー効果>

#### ● 中国における高い厨房施工力

高級ホテル、大手企業の社員食堂をはじめ、チェーンレストラン・スーパー・コンビニなどに向けて幅広く展開します。

#### ● 中国における厨房一式事業の強化

東邦御厨社の保有する厨房一式事業のノウハウ、成長分野におけるエンドユーザーとの直接取引の実績、ITを活用したアフターサービス体制を活かし、5ヵ年経営ビジョンで掲げた中国成長戦略を加速します。

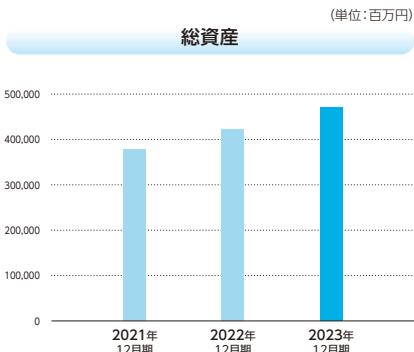
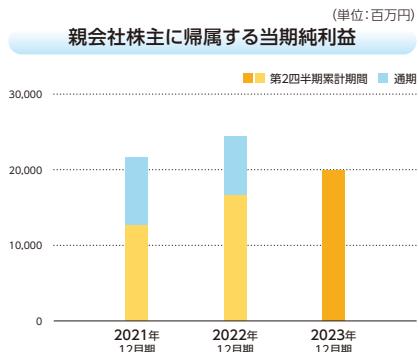
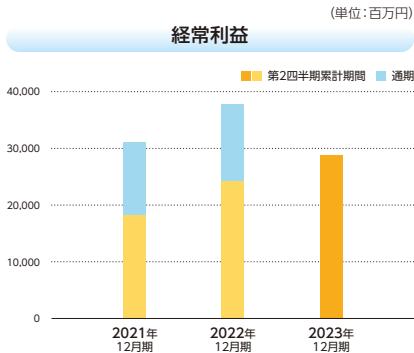
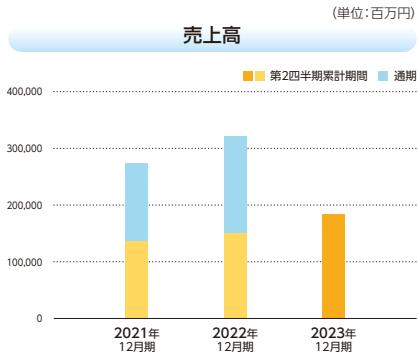
名 称: 北京東邦御厨科技有限公司  
所 在 地: 中華人民共和国 北京市  
事業内容: 厨房一式に係る、設計・施工・仕入販売及びアフターサービス等  
展開エリア: 北部を中心とする中国全土

連結財務ハイライト

(単位：百万円)

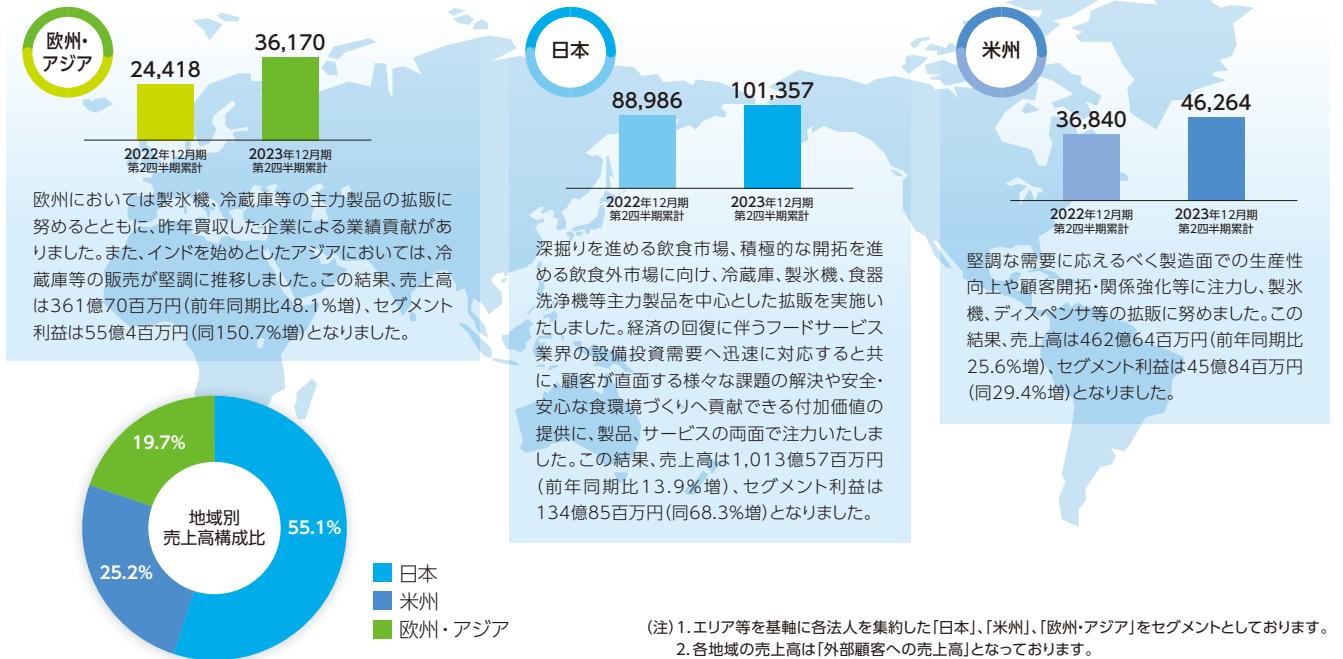
	2021年12月期		2022年12月期		2023年12月期
	第2四半期累計期間	通期	第2四半期累計期間	通期	第2四半期累計期間
売上高	136,643	274,419	150,245	321,338	183,791
営業利益	14,189	24,931	13,263	27,378	22,994
経常利益	18,229	31,165	24,159	37,226	28,830
親会社株主に帰属する当期純利益	12,683	21,679	16,594	23,977	19,930
純資産	249,816	259,862	293,723	292,249	324,370
総資産	369,769	378,469	422,490	423,607	469,637

(注)当第2四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2022年12月期通期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。



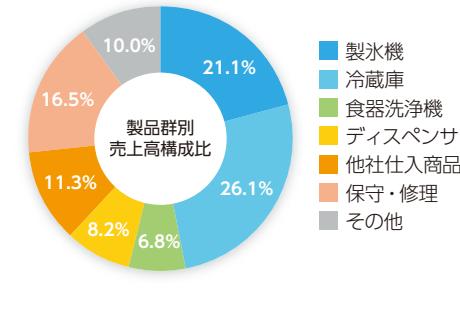
セグメント別売上高

(単位：百万円)



製品別売上高

(単位：百万円)



	2022年12月期 第2四半期累計	2023年12月期 第2四半期累計
製氷機	25,402	38,871
冷蔵庫	42,177	48,001
食器洗浄機	10,513	12,569
ディスペンサ	10,709	15,093
他社仕入商品	19,524	20,705
保守・修理	26,963	30,346
その他	14,955	18,204
合計	150,245	183,791

(注) 2022年7月1日に行われたBrema Group S.p.A.との企業結合について前期末において暫定的な会計処理を行っていましたが、当第2四半期末に確定したため、前期末との比較・分析にあたっては、暫定的な会計処理の確定による見直し後の金額を用いております。

**1 流動資産**

前期末に比べ372億9百万円増加し、3,654億50百万円となりました。主な要因は、現金及び預金、受取手形、売掛金及び契約資産、商品及び製品の増加によるものであります。

**2 固定資産**

前期末に比べ88億20百万円増加し、1,041億86百万円となりました。主な要因は、有形固定資産の増加によるものであります。

**3 資産合計**

流動資産、固定資産が共に増加したため、資産合計は前期末に比べ460億30百万円増加し、4,696億37百万円となりました。

**連結貸借対照表**

(単位：百万円)

	当第2四半期末 2023年6月30日現在	前期末 2022年12月31日現在	増減額
<b>資産の部</b>			
<b>1 流動資産</b>	<b>365,450</b>	<b>328,240</b>	<b>37,209</b>
現金及び預金	248,666	226,065	22,601
受取手形、売掛金及び契約資産	54,896	45,783	9,113
商品及び製品	20,871	17,806	3,064
仕掛品	7,827	6,797	1,029
原材料及び貯蔵品	28,017	27,222	794
その他	5,752	5,055	697
貸倒引当金	△580	△489	△90
<b>2 固定資産</b>	<b>104,186</b>	<b>95,366</b>	<b>8,820</b>
有形固定資産	53,071	49,510	3,561
無形固定資産	19,019	17,616	1,402
投資その他の資産	32,095	28,239	3,855
<b>3 資産合計</b>	<b>469,637</b>	<b>423,607</b>	<b>46,030</b>

	当第2四半期末 2023年6月30日現在	前期末 2022年12月31日現在	増減額
<b>負債の部</b>			
<b>流動負債</b>	<b>115,882</b>	<b>102,987</b>	<b>12,895</b>
支払手形及び買掛金	35,613	32,714	2,898
未払法人税等	9,904	4,066	5,837
その他の引当金	7,498	5,921	1,576
その他	62,866	60,284	2,581
<b>固定負債</b>	<b>29,384</b>	<b>28,370</b>	<b>1,014</b>
退職給付に係る負債	21,751	21,560	190
その他の引当金	2,602	2,108	494
その他	5,030	4,701	329
<b>負債合計</b>	<b>145,266</b>	<b>131,357</b>	<b>13,909</b>
<b>純資産の部</b>			
<b>株主資本</b>	<b>288,986</b>	<b>274,795</b>	<b>14,191</b>
資本金	8,098	8,070	27
資本剰余金	14,620	14,593	27
利益剰余金	266,276	252,140	14,136
自己株式	△8	△8	0
<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>31,345</b>	<b>14,153</b>	<b>17,191</b>
その他有価証券評価差額金	77	65	12
為替換算調整勘定	32,970	15,914	17,055
退職給付に係る調整累計額	△1,702	△1,826	124
<b>非支配株主持分</b>	<b>4,038</b>	<b>3,300</b>	<b>738</b>
<b>純資産合計</b>	<b>324,370</b>	<b>292,249</b>	<b>32,120</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>469,637</b>	<b>423,607</b>	<b>46,030</b>

**4 流動負債**

前期末に比べ128億95百万円増加し、1,158億82百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金、未払法人税等の増加によるものであります。

**5 固定負債**

前期末に比べ10億14百万円増加し、293億84百万円となりました。

**6 負債合計**

流動負債、固定負債が共に増加したため、負債合計は前期末に比べ139億9百万円増加し、1,452億66百万円となりました。

**7 純資産合計**

利益剰余金、為替換算調整勘定が増加したため、純資産は前期末に比べ321億20百万円増加し、3,243億70百万円となりました。

連結損益計算書

(単位：百万円)

	当第2四半期累計期間 2023年1月1日～ 2023年6月30日	前第2四半期累計期間 2022年1月1日～ 2022年6月30日	増減額
売上高	183,791	150,245	33,546
売上原価	115,873	96,795	19,077
売上総利益	67,918	53,449	14,468
販売費及び一般管理費	44,923	40,186	4,737
営業利益	22,994	13,263	9,731
営業外収益	6,388	11,674	△5,285
受取利息	2,148	316	1,832
為替差益	3,917	11,074	△7,157
その他	322	283	38
営業外費用	552	778	△225
支払利息	72	26	46
持分法による投資損失	360	653	△292
その他	119	99	20
経常利益	28,830	24,159	4,670
特別利益	34	46	△12
固定資産売却益	21	11	10
投資有価証券売却益	12	35	△23
特別損失	22	41	△19
固定資産廃棄損	21	41	△20
その他	1	-	1
税金等調整前四半期純利益	28,841	24,164	4,677
法人税、住民税及び事業税	12,090	10,466	1,623
法人税等調整額	△3,650	△3,171	△479
法人税等合計	8,439	7,295	1,143
四半期純利益	20,402	16,868	3,533
非支配株主に帰属する四半期純利益	471	274	196
親会社株主に帰属する四半期純利益	19,930	16,594	3,336

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当第2四半期累計期間 2023年1月1日～ 2023年6月30日	前第2四半期累計期間 2022年1月1日～ 2022年6月30日	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	19,638	2,118	17,519
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,134	△4,409	△725
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,932	△8,130	2,197
現金及び現金同等物に係る換算差額	10,416	16,414	△5,998
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	18,987	5,994	12,992
現金及び現金同等物の期首残高	186,669	181,615	5,053
現金及び現金同等物の四半期末残高	205,656	187,610	18,046

8 売上高

国内では昨年発生した部材調達難による供給制約は解消した中、飲食市場への拡販及び流通販売業や加工販売業等の飲食外市場への拡販と新規顧客の開拓に注力いたしました。海外では、堅調な需要の継続に対して製品供給に注力すると共に、収益性の改善にも努めました。また、昨年買収した企業による業績貢献がありました。以上の結果、売上高は前年同期比22.3%増の1,837億91百万円となりました。

9 営業利益/経常利益

営業利益は材料費や人件費の高騰がありつつも、増収や価格改定、収益性の向上に努め、前年同期比73.4%増の229億94百万円となりました。また、保有外貨建資産等の円換算評価による為替差益39億17百万円を計上したことにより、経常利益は前年同期比19.3%増の288億30百万円となりました。

10 親会社株主に帰属する四半期純利益

親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比20.1%増の199億30百万円となりました。

11 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、196億38百万円の収入となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益が288億41百万円あったものの、為替差益が35億44百万円、法人税等の支払額が67億6百万円あったことによるものであります。

12 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、51億34百万円の支出となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出が27億31百万円あったことによるものであります。

13 現金及び現金同等物の四半期末残高

現金及び現金同等物の四半期末残高は、前年同四半期末に比べ180億46百万円増加し、2,056億56百万円となりました。

株式の状況

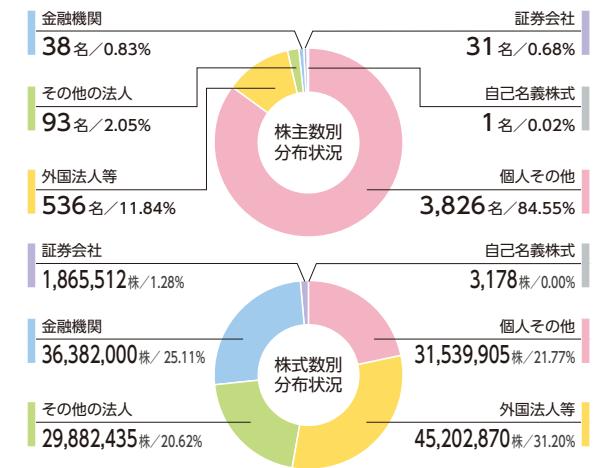
発行可能株式総数	500,000,000 株
発行済株式の総数	144,875,900 株
株主数	4,525 名

大株主の状況

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) …	19,481	13.44
坂本ドネイション・ファウンデーション株式会社 …	12,406	8.56
公益財団法人ホシザキグリーン財団 …	11,900	8.21
ジェービー・モルガン・チェース・バンク380055(常任代理人 株式会社みずほ銀行(決済営業)) …	8,282	5.71
株式会社日本カストディ銀行(信託口) …	6,249	4.31
ホシザキグループ社員持株会 …	4,829	3.33
一般財団法人ホシザキ新星財団 …	3,398	2.34
GOVERNMENT OF NORWAY(常任代理人 シェアバンク、エヌ・イー東京支店) …	3,201	2.21
坂本 美由紀 …	2,271	1.56
森井 純子 …	2,142	1.47
伊東 由美 …	2,142	1.47

(注) 持株比率は自己株式(3,178株)を控除して計算しております。

株式分布状況



ホシザキ株式会社

- 本社/愛知県 豊明市
- 島根本社工場/島根県 雲南市

国内グループ会社

- ホシザキ販売株式会社/東京都 品川区
- ホシザキ北海道株式会社/北海道 札幌市
- ホシザキ東北株式会社/宮城県 仙台市
- ホシザキ北関東株式会社/埼玉県 さいたま市
- ホシザキ関東株式会社/東京都 文京区
- ホシザキ東京株式会社/東京都 品川区
- ホシザキ湘南株式会社/神奈川県 横浜市
- ホシザキ北信越株式会社/石川県 金沢市
- ホシザキ東海株式会社/愛知県 名古屋
- ホシザキ京阪株式会社/大阪府 大阪市
- ホシザキ阪神株式会社/大阪府 大阪市
- ホシザキ中国株式会社/広島県 広島市
- ホシザキ四国株式会社/香川県 高松市
- ホシザキ北九株式会社/福岡県 福岡市
- ホシザキ南九株式会社/鹿児島県 鹿児島市
- ホシザキ沖縄株式会社/沖縄県 那覇市
- 株式会社ネスター/愛知県 大府市
- サンセイ電機株式会社/島根県 雲南市
- 株式会社ナオミ/大阪府 箕面市\*1

海外グループ会社

- HOSHIZAKI USA HOLDINGS, INC./米国
- HOSHIZAKI AMERICA, INC./米国
- HOSHIZAKI SOUTH CENTRAL DISTRIBUTION CENTER, INC./米国
- HOSHIZAKI WESTERN DISTRIBUTION CENTER, INC./米国
- HOSHIZAKI NORTHEASTERN DISTRIBUTION CENTER, INC./米国
- HOSHIZAKI NORTH CENTRAL DISTRIBUTION CENTER, INC./米国
- HOSHIZAKI SOUTHEASTERN DISTRIBUTION CENTER, INC./米国
- Jackson WWS, Inc./米国
- LANCER CORPORATION/米国
- LANCER DE MEXICO, SOCIEDAD ANONIMA DE CAPITAL VARIABLE/メキシコ
- INDUSTRIAS LANCERMEX, SOCIEDAD ANONIMA DE CAPITAL VARIABLE/メキシコ
- SERVICIOS LANCERMEX S.A. DE C.V./メキシコ
- HOSHIZAKI LANCER PTY LTD/豪州
- HOSHIZAKI LANCER LIMITED/ニュージーランド
- Lancer Europe/ベルギー
- 嵐蘇(上海)飲料機械設備有限責任公司/中国
- Aços Macom Indústria e Comércio Ltda./ブラジル
- Hoshizaki Europe Holdings B.V./オランダ
- HOSHIZAKI EUROPE LIMITED/英国
- Hoshizaki Europe B.V./オランダ
- Brema Group S.p.A./イタリア
- Finimma S.r.l./イタリア
- Imma Immobiliare S.p.A./イタリア
- Öztiryakiler Madeni Eşya San. ve Ticaret Anonim Şirketi/トルコ\*2
- Western Refrigeration Private Limited/インド
- HOSHIZAKI (THAILAND) LIMITED/タイ
- HOSHIZAKI MALAYSIA SDN. BHD./マレーシア
- HOSHIZAKI SINGAPORE PTE LTD/シンガポール
- HOSHIZAKI VIETNAM CORPORATION/ベトナム
- PT. HOSHIZAKI INDONESIA/インドネシア
- HOSHIZAKI PHILIPPINES CORPORATION/フィリピン
- 星崎香港有限公司/香港
- 星崎(中国)投資有限公司/中国
- 星崎冷熱機械(上海)有限公司/中国
- 星崎電機(蘇州)有限公司/中国
- 北京東邦御厨科技有限公司/中国
- 台湾星崎股份有限公司/台湾
- Hoshizaki Korea Co., Ltd./韓国

(注) 1.2023年7月3日付でシンガポールにHOSHIZAKI SOUTHEAST ASIA HOLDINGS PTE LTD.を設立しました。  
2.2023年6月30日現在、\*1は非連結・持分法非適用子会社、\*2は持分法適用会社、他は全て連結子会社。